

令和3年10月14日

日本国内における総合馬術優良競技馬の貸付けについて

公益社団法人日本馬術連盟

東京オリンピックに向けた強化策として導入した総合馬術優良競技馬について、2022年のアジア競技大会に向けての有効活用策として、以下の馬匹について改めて貸し付けを行うため公募を行う。

貸し付けを希望する者は、所定の書式にて期日迄に日本馬術連盟事務局まで申請すること。

※貸付対象馬(3頭)

- ① ヴィックデュジゾール JRA
- ② バートエル JRA
- ③ ヴィンカズ JRA

1：対象者

2022年のアジア競技大会（杭州）を目指して実際に参加意思表示を行い、日本代表選手を目指す者

2：貸与期間

2022年1月1日から2022年12月31日までの1年間

3：馬の引き渡し

本邦動物検疫所から解放後の着地検査仕向け地で引き渡しとする。

選手の活動拠点としている厩舎への輸送に係る費用は選手の負担とする。

4：応募者の活動実績要件

- ・ ナショナルチームメンバー
 - ・ プロGRESSチームメンバー(ジュニアメンバーを含む)
 - ・ 全日本総合馬術選手権完走者
- その他、本部長・監督が特別に認めた者

5：選手とのマッチング

対象となる馬匹は11月に輸入を予定していることから、動物検疫所からの解放後の着地

検査中に選手とのマッチングテストを行う予定。

本部長・監督が、書類審査を行い、現地にて実技審査、面接を行って対象者を決定する。

6：貸与が決定した際に提示する誓約を受諾すること。主な内容は以下の通り。

- ・馬の飼養管理責任者は当該選手とする。
- ・日常の飼養における健康管理、けがの治療に係る治療費、ワクチン接種などは選手の責任において管理し、費用はすべて自己負担とする。
- ・基本的トレーニングメニューは各自で企画・実行すること。
- ・所定の計画書・報告書を定期的に提出すること。
- ・監督が指定する強化合宿や競技会に参加すること。
- ・通常の管理下において、当該馬が死亡あるいは予後不良となった場合、特段の過失がない限り連盟はその責を騎乗者に求めない。
- ・引き渡し後、飼養管理の不充分、競技成績が思わしくないなどのほか、戦略的判断により馬匹を引き上げ、あるいは他の選手との乗り替わりなどを指示する場合がある。その際には必ず従うこと。

7：申し込み

期日　　：令和3年11月1日（月）必着

送付先　：郵送　　　　　104-0033 中央区新川 2-6-16 馬事畜産会館
公益社団法人日本馬術連盟　総合馬術担当

E-Mail　　nakajima@equitation-japan.com

※着地検査は、山梨県馬術競技場を候補地として協議中